

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「覚えよう」とするとき、私たちは **A** 的に持っている知識を使っている。日常の生活場面で、私たちは人の言っていることを簡単に理解できる。テレビドラマや映画も理解できる。しかし、考えてみると、人の話もドラマや映画のプロットも、ポーンと飛ぶことが多い。あることを話していたのに突然話題が変わったり、シーンが変わったり。実際には説明されていない、あるいは映像として見せられていないところもたくさんある。

「Ⅰ」、映画で考えてみよう。黒い服を着た人たちが集まり、何人かが泣いていて、みな暗い顔をしている場面からいきなり始まったとしよう。それがお葬式の場面だとはい誰もひと言も言わないし、ナレーションでも語られない。でも、私たちはいちいち説明されなくても話についていける。それは私たちが、「お葬式」というものがどういうものなのかを知っていて、映画のその場面が「お葬式」の場面なのだとということがわかるからだ。

私たちは日常で起こっている何かを理解するために、常に「¹行間を補っている」。実際には直接言われていないことの意味を自分自身で補いながら、文章、映像、あるいは日常的に経験する様々な事象を理解しているのだ。行間を補うために使う常識的な知識、これを心理学では「スキーマ」と呼んでいる。

海外の前衛的な映画を見ると、ストーリーを追えなくなってしまうことが時々ある。それは、行間を補うことができないことから来ている。こういうときは、多くの場合二つの種類のスキーマが足りない。まず、それぞれの状況について行間を補うスキーマ。自分たちの文化で当たり前だと思っていることが映画の舞台となっている文化では通じない。「Ⅱ」、映画の舞台となる文化における日常生活のスキーマがないので、映画で表現されている場面や状況の行間が補えないのだ。

もうひとつの種類スキーマは、物語の展開に関するスキーマである。私たちは、映画やドラマを見ると、ここは回想のシーンだ、ここからはこのように話が展開するだろう、というようなことを、無意識に予測しながらストーリーを追っている。これも、ドラマや映画、あるいは小説などのストーリーの **B** 的展開の仕方についての知識、すなわち「物語のスキーマ」である。

B 的な物語のスキーマがまったく通じないような前衛的な作品は、それだけでも理解が難しくなる。ましてや、それがまったく異なる文化で、自分の日常生活における様々なスキーマが使えないとなると、日本語字幕があつて **C** 的な字幕は理解できても、ストーリー自体が理解できなくなってしまうのである。

書いてあることが **C** 的には理解できても、スキーマがないと何を言っているのかわからない。それはドラマや映画に限らない。専門家に向けて書かれた文章は、その分野の専門的な知識を持たない人には理解することが難しい。理解が難しい理由にはもちろん、専門用語がわからないということもある。「Ⅲ」、専門用語がすべて解説されていても、全体の論旨^①がわからないことも多い。これは、その専門分野での背景知識（その専門分野のスキーマ）が足りないため、書かれていないこと行間を補うことができないからなのだ。

人は、何か新しいことを学ぼうとするときには必ず、すでに持っている知識を使う。知識が使えない状況では理解が難しく、「Ⅳ」記憶もできない。つまり、学習ができない、という事態^②に陥ってしまう。言い換えれば、すでに持っている知識が新しいことの学習に大きな役割を果たしているのである。

スキーマは覚えるべき内容に意味づけをする。スキーマはまた、外界にある膨大な情報から必要な情報にのみ注意を向けさせる。人は注意を向けて選択した情報だけを記憶する。五〇〇円硬貨の図柄をほとんどの人が憶^憶えていないのは、硬貨を識別するために図柄に対しては注意を向けていないからである。

これを突き詰めると、結局、私たちは、物事を「D」的に記憶できないということだ。私たちは常に物事を——それが人の話であれ、テキストであれ、映画やドラマであれ、その他もろもろの事象であれ——、様々な知識を使って解釈し、解釈した結果を記憶しているのである。言い換えれば、日常生活における記憶は「D」的な出来事の記録¹²ではなく、知識のフィルターを通して解釈され、構築されたものなのだ。

(今井むつみ『学びとは何か—〈探究人〉になるために』による。一部改変)

問一 二重傍線①②の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄「I」～「IV」に入る語として最も適当なものを、それぞれア～オから選び、符号で答えなさい。

- | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|---------|
| I | ア しかし | イ 要するに | ウ また | エ たとえば | オ もちろん |
| II | ア つまり | イ けれども | ウ ところで | エ あるいは | オ ただし |
| III | ア だから | イ しかも | ウ いわゆる | エ なぜなら | オ しかし |
| IV | ア なぜなら | イ さて | ウ 逆に | エ それとも | オ したがって |

問三 空欄「A」～「D」に入る語として最も適当なものを、それぞれア～オから選び、符号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|
| A | ア 心理 | イ 打算 | ウ 常識 | エ 科学 | オ 物理 |
| B | ア 画期 | イ 例外 | ウ 積極 | エ 技術 | オ 一般 |
| C | ア 消極 | イ 表面 | ウ 主観 | エ 画一 | オ 精神 |
| D | ア 希望 | イ 一方 | ウ 抽象 | エ 客観 | オ 恣意 |

問四 傍線部1「行間を補っている」例としてふさわしくないものを、ア～オから一つ選び、符号で答えなさい。

- ア ラジオで二車線ある高速道路の一車線が通行止めになっていると聞いて、高速道路は渋滞するだろうと考え、一般道路を使うことにした。
- イ 今朝、テレビで気象予報士が「今日は午後から雨が降るので傘が必要です」と言ったので、傘を持って家を出た。
- ウ 公園の方から太鼓の音が聞えてきたので、夏祭りが始まったのだと気づき、急いで公園に行ってみた。
- エ 病院で受付の場所がわからなくて困っていると、白衣を着た人が通りかかったので、この病院の医師だと思い、道案内を頼んだ。
- オ 彼は東京に行ったとは言っていないが、彼が写っている写真にスカイツリーも写っていたので、彼に「いつ東京に行ったのか」と尋ねた。

問五 傍線部2「知識のフィルターを通して」とはどういうことか、その説明として最も適当なものを、ア～オから選び、符号で答えなさい。

- ア スキーマが外界にある膨大な情報を集めてくること。
- イ 様々なスキーマを選択しながら記憶していること。
- ウ スキーマによって記憶がゆがめられてしまうこと。
- エ 様々なスキーマを使って行間を補っていること。
- オ スキーマが必要な情報だけに注意を向けさせること。

問六 次のア～カのうち、本文の内容と合致するものを一つ選び、符号で答えなさい。

- ア 海外の前衛映画は既成の形式にとられ、実験的な要素が乏しいために、物語のスキームがまったく通じない。
- イ 日常生活において様々な事象を理解するためには、スキームを解釈し、解釈した結果を記憶しなければならない。
- ウ 専門知識がなければ理解しにくい文章も、すべての専門用語を解説することによって、理解に必要なスキームを増やすことができる。
- エ 新しいことを記憶するためには理解することが必要で、新しいことを理解するためにはすでに持っている知識が必要である。
- オ 映画を見ていて、説明がなくても「お葬式」の場面だとわかるのは、行間を補う必要がない映像だからである。
- カ 文化における日常生活のスキームがないと状況が具体的に想像できないので、記憶を断片的にしか思い出せない。

二 次の問いに答えなさい。

問一 ①～⑩の熟語の読みを、ア～トの中から選び、符号で答えなさい。

- ① 擁護 ② 屋外 ③ 給湯 ④ 掲揚 ⑤ 推奨
- ⑥ 鍛造 ⑦ 委嘱 ⑧ 掌握 ⑨ 破棄 ⑩ 重鎮

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| ア はき | イ いたく | ウ ようご | エ きゆうゆ | オ はあく |
| カ じゅうちん | キ しょうあく | ク けいさい | ケ じゅうしん | コ いしよく |
| サ すいせん | シ きゆうとう | ス ちゆうぞう | セ けいよう | ソ すいしよう |
| タ ひご | チ やがい | ツ たんぞう | テ おくがい | ト はいき |

問二 ①～⑩の傍線部のカタカナに当てはまる漢字を、それぞれのア～エの中から選び、符号で答えなさい。

- ① 彼をパーティにシヨウ待しよう。
- ② 両親に恋人をシヨウ介した。
(ア 招 イ 召 ウ 沼 エ 紹)
- ③ 王が全軍の指揮をトる。
- ④ 彼の予想はトラぬ狸たぬの皮算用だ。
(ア 撮 イ 採 ウ 執 エ 捕)
- ⑤ 床上までシン水した。
- ⑥ その奇術は読シン術によるものだ。
(ア 唇 イ 浸 ウ 侵 エ 診)
- ⑦ 体育で懸スイのテストがあった。
- ⑧ その道具は紡スイ形をしている。
(ア 錘 イ 遂 ウ 垂 エ 睡)

⑨ それは班全員の連タイ責任だ。

⑩ みごとな編タイ飛行だ。

(ア 体 イ 隊 ウ 帯 エ 態)

問三 ①～⑩の四字熟語の、□の箇所にはまる漢字を、ア～トの中から選び、符号で答えなさい。

① 粉骨碎□ ② 温□知新 ③ 五里□中 ④ □代未聞 ⑤ 新陳□謝

⑥ 質実□健 ⑦ □和雷同 ⑧ 首尾一□ ⑨ 大□団結 ⑩ 年□序列

ア 古	イ 心	ウ 霧	エ 同	オ 前
カ 貫	キ 付	ク 全	ケ 道	コ 替
サ 剛	シ 功	ス 卷	セ 夢	ソ 不
タ 豪	チ 効	ツ 代	テ 身	ト 故